



留萌管内社会教育主事会の取組について

留萌管内社会教育主事会 事務局長

(天塩町教育委員会 生涯学習係長兼生涯学習係長) 相馬 卓朗



概要



- 1市6町1村の教育委員会、留萌教育局の職員で構成
- 会員17名（うち、社会教育主事2名）
- 年間5回程度の研究協議

実情

- 異動等による個人の知識・経験不足と社教主事会員の減少
- 主事会としても研究の蓄積が困難



昨年度の振り返り

- 社会教育について基本的な理解を深める研修
- 各市町村で行う社会教育事業のブラッシュアップ



目標設定

主事会が持続可能な研究活動を行うための の土台づくり

- 社会教育主事・社会教育担当職員としての資質の向上を図る
- 各市町村社会教育事業のブラッシュアップと実施
- ベテランのノウハウを学ぶための管内合同事業の実施

サブテーマ

『管内合同事業実施のための社会教育の 土台づくりとそのための人材育成』

- R5年度からサブテーマを引き続く
- 主事会としてファシリスキルの向上するとともに各市町村で社会教育事業のブラッシュアップを行う

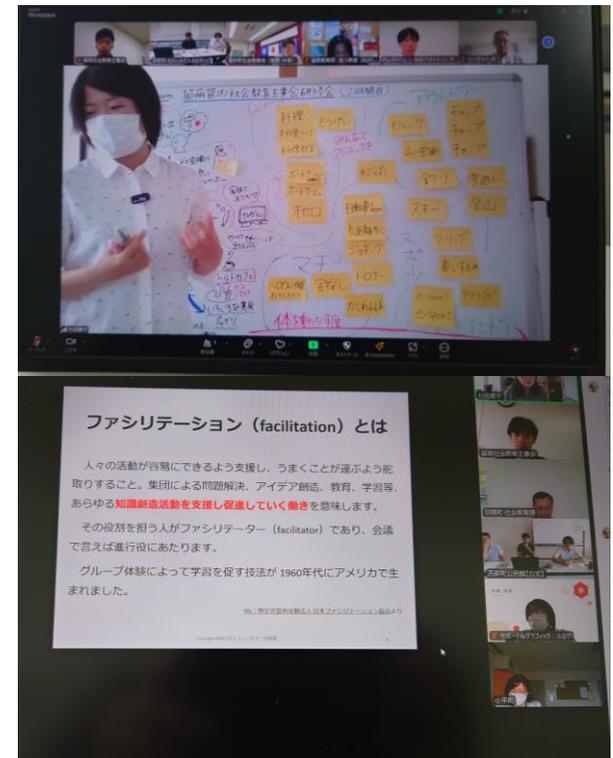
今年度の取組

- 第1回研究協議「社会教育に資する教材の活用について」
- 第2回研究協議「ファシリテーションスキルアップ研修（基礎編）」
- 第3回研究協議「ファシリテーションスキルアップ研修（応用編）」
- 道北ブロック社会教育主事等研修会
- 北海道地域子ども会育成研究協議会
- 留萌管内生涯学習セミナー

ファシリテーションスキルアップ研修

- 昨年度の再履修として基礎を学ぶ
「基礎編」、ファシリテーション
ラフィックの手法・活用について
「応用編」の2回にわたって研修を
実施

- 講師：フューチャー北海道
理事 杉田 恵子 氏
理事 櫻木 正彦 氏
kaerigoto
代表 古家 衣梨 氏



ファシリテーションの実践

■ 実践の場

- 道北ブロック社会教育主事等研修会
- 北海道地域子ども会育成研究協議会
- 留萌管内生涯学習セミナー



会員の感想（研修の効果）

- 模造紙へのまとめ方が活用できた
- 要約力に関して活用できた
- 相手の考えの引き出し方で活用できた

会員の感想（実践での課題）

- 参加者の経験や知識の量に差があり、均等に話題を振ることに苦労した
- 多数の意見が最適解とは限らず、終着点を見定める力が必要であると感じた
- 話をまとめて発表するまでにまとめていくスピード感、タイムキーパーの役割として課題を感じた

各市町村でのブラッシュアップ（天塩町）

- 道北ブロック研修（一社）とちぎ市民協働研究会 廣瀬 隆人 氏の講演にて、「社会教育は、学びと通じて人と人とのつながりをつくり出して、人々の幸せを作ること」
- 高齢者大学の学生が「知らない若い人が増えた」

「高齢者大学×子ども・子育て世代」の
多世代交流学習

高齢者大学の多世代交流学習

- 高齢者大学×こども園
- 高齢者大学×中学生
- 高齢者大学×子育て家庭（親子）



交流学习の効果

- 参加率の向上（R 5：66.4%→R 6：75.2%）
- 意見の活発化・自立の促進



次年度以降の活動

- **社会教育担当者としてのスキルアップ（プランナースキルorコーディネータースキル）**
- **管内合同事業の目標設定と企画内容の検討**